

真言宗の宗祖である空海は、唐に渡って密教を学び、その教えを日本各地に広めました。貞観16年(874)に醍醐寺を開いた聖宝は、空海の弟子で実弟でもある真雅のもとで修行した人物で、空海の孫弟子にあたります。空海と聖宝の願いを引き継いだ醍醐寺初代座主・観賢は、醍醐寺に心をお寄せになられた醍醐天皇に空海へ的大師号(高僧に、朝廷から贈られる尊号)の下賜を願い出しました。観賢の熱心な思いに心打たれた醍醐天皇は、延喜21年(921)、空海のご業績を称え、「弘法利生」という言葉の中の「弘法」という二字を取り入れた大師号を贈られました。

本年、令和3年(2021)は、弘法大師諡号下賜から1100年の節目にあたります。諡号下賜への思いと共に、「お大師様は、未だ高野山の地に居られ、衆生をお救い下さる」と心から念じ、そのお姿に想いを馳せ、祈り続けられている大師信仰の祈りの原点をぜひご覧ください。



空海に大師号を下賜した醍醐天皇

醍醐天皇像 室町時代



こうぼうりしょう
弘法利生

衆生(全ての生きとし生けるもの)に
利があるように、^{ひろ(弘)}弘く仏法を伝えること。



醍醐天皇と醍醐寺

醍醐天皇は醍醐寺に深い信心を寄せられ御願寺としました。皇子に恵まれなかった天皇は、上醍醐の准胝観音に祈願をし、後の朱雀、村上両天皇を授かりました。



空海と観賢

醍醐寺初代座主の観賢は、空海の弟子の弟子の弟子にあたります。(空海—真雅—聖宝—観賢)

空海とともに唐から渡り
日本で祀られた神



清瀧権現像 近代

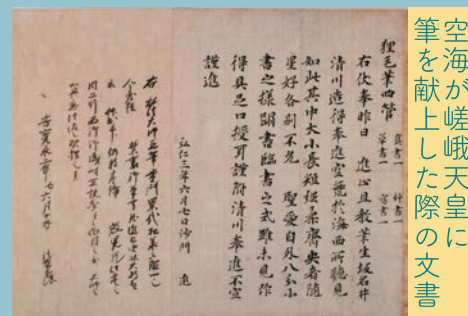


金銅独鈷杵 鎌倉時代



金銅三鈷杵 平安～鎌倉時代

法要で用いられる密教仏具



空海が嵯峨天皇に
筆を献上した際の文書

国宝 狸毛筆奉獻表 平安時代



弘法大師絵伝 江戸時代

空海の伝承を描いた絵巻

拝観案内・午前9時～午後5時(受付終了は閉門30分前)

※休館日なし。ただし、行事等の都合により変更の可能性あり。

- ・ご入場には、文化財維持寄付金として500円以上のご寄進をお願いしております。
- ※三宝庭院園・伽藍は、別途大人1000円、中高生700円必要。

交通案内・市営地下鉄東西線「醍醐」駅下車②番出口より徒歩約10分

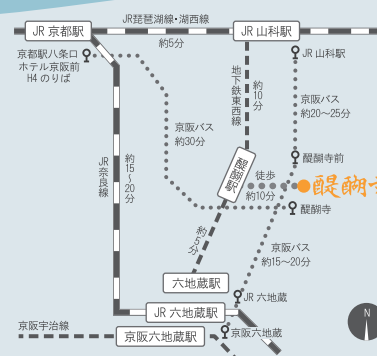
- ・京阪バス22/22A系統「醍醐寺前」、301系統「醍醐寺」下車すぐ

新型コロナウイルス感染症の状況等により、予告なく展覧会の中止や会期の変更、入場制限を行う場合がございます。最新情報は、醍醐寺ホームページでご確認ください。



總本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22
Tel.075-571-0002 <https://www.daigoji.or.jp/>



弘法大師諡号下賜1100年慶讃行事

令和3年(2021)
11月25日(木)～30日(火)

